

※ 海外ニュース ※

ドイツ 2025年3月3日 Süddeutsche Zeitung

■ CSU、党内からの乗用車向け通行料導入案を否定

CSU kassiert Vorschlag aus Partei für Pkw-Maut ein

次期政権の樹立に向けて連立交渉中のキリスト教社会同盟（CSU）で、党内法務委員会が乗用車を対象とした高速道路通行料金導入を提案する決議を採択した。しかし党本部は、提案の公表から2日と経たないうちにこれを否定した。法務委員会は、社会民主党（SPD）との連立交渉も見据えて「交通インフラの全利用者が資金調達に協力すべき」と明言。理由として、ドイツ各地に改修工事の必要な高速道路が多いこと、特に若い世代が不利益を被っていることを挙げていた。ドイツでは、既に2019年に当時の連邦政府が乗用車通行料の導入を試みている。これは欧州司法裁判所（ECJ）により違法として阻止され、予定されていた事業者に2億4,300万ユーロの補償金を支払う事態となった。

オーストラリア 2025年3月3日 Roads & Infrastructure

■ タスマン・ハイウェイの改修にさらなる資金提供

More funding for Tasman Highway upgrades

タスマン・ハイウェイのグレート・イースタン・ドライブは、タスマニアの東海岸沿いの安全と交通の流れを改善する追加改修に1億ドルを受け取ることになる。オーストラリア連邦政府とタスマニア州政府が共同でこれらの改善を提供するが、これには交差点改修、道路拡張、追い越し車線の追加が含まれる。工事は3つのパッケージで実施され、1つはアプスリーパッケージと呼ばれる。これは2025年2月に開始しており、ハイウェイのピチェノ〜コールズ・ベイ・ロード間で改修を実施する。そのほかにも、トリアバナナパッケージ、リスディロンパッケージもハイウェイに改修を行う。

イタリア 2025年3月3日 Electric Vehicle Charging & Infrastructure

■ ファストネッド社が新たなトラック充電ステーションでイタリア市場に参入

Fastned enters Italian market with new truck charging station

ステーションが位置しているのは、イタリア北部の主要幹線道路である混雑するA4幹線道路沿いのサービスエリアである。初めは8カ所の充電スタンドがEVドライバーに利用可能となり、これはA4幹線道路網で最大のEV充電ステーションとなる。ファストネッド社によると、同社の任務は電動モビリティへの移行を加速することであり、2030年までに欧州で1,000カ所のステーションを開設することが目標である。現在340超のステーションが利用可能であるが、このイタリア初のステーションは今や同社が8カ国で業界トップの急速充電を提供していることを意味する。

英国 2025年3月4日 Highways News

■ ノース・ノーザンツの道路網を改善する作業が継続

Work continues to improve highways network across North Northants

ノース・ノーサンプトンシャー議会と道路整備事業者のキアー社は、道路網のエリア全体の整備強化を始めている。ハイウェイズ・トラベル・アンド・アセッツの幹部の新たな役割として、マコーリー・ニコル議員は最近行われた仕事をチームとともに調べてきた。ニコル氏はウェリングバラのバウンダリー道路沿いでロードメンダー技術の新試験のためチームに合流したが、この近くではコピーのロッキングハム道路沿いの一区画で同技術を使用した補修が完了していた。このくぼみ補修法は、丈夫で長持ちするうえ、道路利用者への影響を最小限に抑えながら、繰り返し作業の必要性を減らす狙いがある。

フランス 2025年3月4日 Süddeutsche Zeitung

■ パリ環状高速道路の「環境レーン」導入に反発の声

Neue Umweltspur auf Pariser Stadtautobahn sorgt für Streit

交通量の多さで知られるパリの環状高速道路で、通勤ラッシュ時に1車線を相乗り車両、タクシーとバスの専用レーンとする措置が開始された。全長35kmの環状高速道路は、毎日約150万台が通行しており、市内で最も

大気汚染の深刻な地域の1つである。周辺には55万人が暮らしており、この「環境レーン」の設置でCO₂の排出を抑制するのが狙いである。5月1日からは、人工知能による監視システムが違反を検知すると135ユーロの罰金が科せられる。一方、自動車運転者団体「40 Millions d'Automobilistes」は、この措置に反対する請願活動を開始した。同団体は、この措置は該当レーン以外の渋滞を悪化させるだけであり、今でさえ深刻な状況をさらに激化させることは間違いない、と主張している。

英国 2025年3月5日 Electric Vehicle Charging & Infrastructure

■ モト社が2030年までに最大300基の電気重量物運搬車（eHGV）用充電ベイを設置

Moto to install up to 300 electric HGV charging bays by 2030

モト社は戦略的に配置された23基のスーパーハブに対し、最大300基のeHGV用充電ベイを2030年までに設置する計画である。エクセターとタムワースでの最初の2基のeHGV用スーパーハブ建設は計画認可を受けて、4月中の開始を予定している。これらのスーパーハブにより最大5,000台のeHGVに対応する容量がもたらされると期待され、2,000万本以上の木の植え付けに相当する年間50万メートルトンを超えるCO₂の排出が削減される。計画の第一段階では2027年末までに主要交易路で15基のeHGV用スーパーハブが設置されることになる。

英国 2025年3月6日 ITS International

■ ノキア社がスマート・スーパーコネクテッド・ハイウェイのための通信ネットワークを構築

Nokia builds comms network for the smart, super-connected highway

道路システムは、市街地や農村部、国家間における人や物資の流れを円滑にすることで近代経済・社会で重要な役割を果たしている。道路事業者らはデジタル化や自動化を活用し、道路状況を転換する取組みを行っている。この転換を推進する主な技術には、V2X（Vehicle to Everything）通信、自律走行車、AI支援による協調型高度道路交通システムがある。道路での移動をより安全に、簡単に、持続可能にするため、事業者らがデジタル化や自動化への投資を最大限に活用できるよう、ノキア社はスマートハイウェイネットワークソリューションを構築している。

英国 2025年3月7日 Highways Magazine

■ イギリス自動車協会によるとドライバーはスマートモーターウェイを信用していない

Drivers losing confidence in smart motorways, AA says

イギリス自動車協会は、スマートモーターウェイへの懸念が増えていることが新たな調査で示された後、国内の高速道路網の路肩を元に戻す訴えを繰り返している。この自動車組織の調査によると、ドライバーの3分の1（30%）が3年前に比べ、いかなる形であれスマートモーターウェイに「安全性がかなり低い」と感じており、3分の2が「従来の高速道路により安全性を感じている」としている。National Highwaysによると、実績評価報告書が今月中に発行されるが、これは必要なガバナンスを通過する必要があったが政権交代のために遅れていたとしている。

イタリア 2025年3月10日 Il Fatto Quotidiano.it

■ 新しい「Tutor 3.0」が高速道路の26区間で設置される：変更点と設置場所を説明する

Arrivano i nuovi "Tutor 3.0" in 26 tratte autostradali: ecco cosa cambia e dove sono installati

新しい平均速度管理装置「Tutor 3.0」が26の高速道路の区間で設置され、総計178の区間、総延長1,800kmで新装置が稼働することになる。従来のスピード違反監視カメラは、道路の一地点での一瞬の速度を測定するが、新装置は一区間の平均速度を測定して違反を管理し、それに対する罰則等を決定する仕組みである。使用される装置として、レーダー、遠隔操作カメラ、周辺サーバーと中央システム装置などが用いられ、制限速度を守らせることを目的としている。

米国 2025年3月11日 Global Highways

■ フロリダの輸送インフラに660億ドル

\$66 billion for Florida transport infrastructure

「フロリダを前へ進めよう」構想は今後5年間の輸送投資に661億ドルを見込んでいる。フロリダ州の交通局

には道路システムを改善する大規模な計画がある。州間高速道路 75 号線の拡張、同 4 号線と 275 号線のエクスプレスレーンの追加、同 95 号線のゴールデン・グレイズ・インターチェンジの再設計がプロジェクトに含まれる。同州では人口や観光が急成長し続けており、この構想では輸送インフラが現在・将来の住民、観光客の要望を満たせることを保証する重要な改善に焦点を当てている。これには人や物資が州内で安全に移動できることを保証する主要州間高速道路・幹線道路への投資が含まれる。

スペイン 2025 年 3 月 13 日 Cinco Días

■ フェロビアル社は、カナダの高速道路 407 の運営について 13 億 4,000 万ユーロを投資することで 48.3%の株式を保有し、最大株主となった

Ferrovial invierte 1.340 millones para subir al 48,3% y convertirse en primer accionista de la autopista 407 de Canadá

フェロビアルグループは、アトキンスレアリス社が所有するトロント（カナダ）の幹線道路の管理運営会社の保有株主のうち 5.06%を一括して購入する契約を締結した。買い取り総額は 13 億 4,000 万ユーロに相当し、同グループのカナダの高速道路 407 の資産保有率は 48.29%に達する。フェロビアル社によると、最初に工事が完成した段階で 3.30%が獲得され、その後 18 カ月の間に売買オプションを通じて 1.76%の株式が遅れて購入される予定という。

ブラジル 2025 年 3 月 14 日 Global Highways

■ ヴィンチ社のブラジル道路利権

VINCI's Brazilian highway concession

ヴィンチ・ハイウェイ社はブラジルのベロ・オリゾンテ～クリスタリナ間道路（ヴィア・クリスタイス）の運用を引き継いだ。この取引は 30 年間の利権契約に対するもので、2024 年 9 月にブラジル国家陸上輸送庁により発注された。同社は 300 人の従業員からなるチームを雇用、訓練し、新たなコントロールセンターを開所し、通行料徴収や基本サービスを再開した。今後は容量拡大や安全性向上のため工事の準備に取りかかる。建設は路上の往来と並行して行われ、2031 年までに完了する。この作業には広範な下請けの運用も必要となり、これにより地元企業に恩恵がもたらされる。

スペイン 2025 年 3 月 14 日 Cinco Días

■ スペイン運輸局は、EU の新しい法律にもかかわらず、高速道路の運賃徴収を取りやめる

Transportes descarta peajes en las autovías pese a la nueva regulación de carreteras que viene de la UE

スペイン政府は、無料道路の通行料金の支払いを新たに義務付けない勅令を承認する方針で、同時に高速道路に対する現時点での助成金政策を存続させることにした。EU が決定した道路関連法案をスペイン国内法に適用させるにあたって、スペインでは道路網について新しい料金徴収法案を採択せず、道路に対する現時点での助成金制度を維持する方針であると、オスカル・プエンテ大臣が率いるスペイン運輸局は明らかにしている。

英国 2025 年 3 月 17 日 Highways News

■ National Highways がスマートモーターウェイの安全性向上を完了

National Highways completes safety upgrades for smart motorways

National Highways は、最終版の『スマートモーターウェイ実績評価経過報告書（第 4 版）』を発行し、主要な安全構想の完成を概説し、スマートモーターウェイの実績に関する最新分析を提示している。この報告書では、全車線走行モーターウェイへのレーダーベースの停止車両検出技術の設置を含め、2020 年の実績評価がすべて実施されたことを確認している。調査結果は、スマートモーターウェイは議論すべき問題のままであるものの、進行中の安全対策およびインフラ改善は道路利用者に対する実績や信頼性を高める助けとなっていることを裏付けている。

英国 2025 年 3 月 18 日 Highways News

■ AI および衛星データ駆動型道路交通監視プラットフォームを開発するため、ヴァレラン社に 360 万ポンドの欧州宇宙機関契約を授与

Valerann awarded €3.6m ESA contract to develop AI and satellite data-enabled road traffic monitoring platform

ヴァレラン社は、欧州宇宙機関のビジネス・アプリケーション・スペース・ソリューション・プログラムから

360万ユーロの共同出資契約を与えられた。この契約により、全国の道路網の安全性や効率性を高めるよう設計された AI および衛星データ駆動型交通監視・事故検出プラットフォームの開発と実証が支援される。主要官民道路交通当局との共同を通して実証済みであるヴァレラン社の主力製品は、道路事業者が道路の安全性を高める上で役に立つ。

ドイツ 2025年3月18日 Kapsch TrafficCom

■ Kapsch TrafficCom 社：世界でのモビリティ ネットワーク化に向けてさらに前進

Kapsch TrafficCom: der nächste Schritt für vernetzte Mobilität weltweit

ドイツでは、協調型高度道路交通システム（C-ITS）の導入によって高速道路交通の安全性と効率性を高め、リアルタイムのデータ交換で交通流を最適化する取組みが進んでいる。現在進行中のプロジェクトは、約8,600kmの高速道路区間で ITS 路側ステーション（IRS）を移動式道路標識に統合するもの。工事現場に接近する車両にリアルタイムで警告を発し、道路作業員の安全性を高める。これは世界最大級の C-ITS プロジェクトであり、ウィーンに本社を置く Kapsch TrafficCom 社がハードウェアとソフトウェアを提供している。ドイツ以外にも各国がモビリティの課題解決のためデジタル化とネットワーク化に力を入れており、Kapsch 社は同様のプロジェクトを他の欧州諸国や豪州、米国でも実施している。

英国 2025年3月18日 Global Highways

■ 英国の老朽化道路に関する ALARM 報告書

ALARM report on UK's crumbling roads

イングランドおよびウェールズの自動車道修理の未処理分が約170億ポンドという頂点に達したが、道路は平均で93年に1度だけ舗装されていることになる。この数字は2025年年次地方自治体道路整備（ALARM）調査報告書によるもので、地方道路網の半分以上（約170,000km）の残り構造寿命が15年未満であり、また、これらの約3分の1（55,630km）は残り寿命が最大5年である可能性がある、としている。アスファルト工業会の会長デビッド・ジャイルズ氏は、資金割り当ての短期的性質もあり道路網の状態やレジリエンスで定量化可能な向上が得られていないと述べている。

ドイツ 2025年3月18日 BMDV

■ トラックの高速道路通行料——概要

Lkw-Maut

ドイツでは2005年にトラックの高速道路通行料を導入し、連邦幹線道路の建設費を税方式から利用者負担方式へ変更した。以来、通行料徴収の対象となる区間とトラックの重量区分を順次拡大し、現在では原則としてすべての車両総重量（tzGm）3.5トン超のトラックにすべての高速道路で通行料の支払いを義務付けている。トラック通行料は、関連する EU 指令に従って実際の通行コストに基づいて算出される。コストの内訳は、道路網の建設、拡張、維持および運営費用のほか、大気汚染、騒音公害、CO₂ 排出に起因する費用等である。汚染物質や CO₂ の排出量と通行料金をリンクさせることで、運送各社による低排出車両の活用や鉄道・水路へのシフトが促進される。

オーストラリア 2025年3月27日 Roads & Infrastructure

■ 2,000万ドルのミッチェル・ハイウェイ契約の一部としてララス・リーで工事が開始

Larras Lee works to begin as part of \$20 million Mitchell Highway package

ニュー・サウス・ウェールズ州、ミッチェル・ハイウェイの2,000万ドルの改修一括契約の一部として第三プロジェクトの工事がまもなく開始する。この1.4kmに及ぶララス・リー・プロジェクトは、ミッチェル・ハイウェイの5区画の工事の1つであり、州中西部で安全性を向上させる。「ゼロを目指した道路安全化プログラム」を通して州政府から資金提供を受けたこの485万ドルのプロジェクトは、5区画の中で最大となる。このプロジェクトには道路外衝突・正面衝突の発生を減らすための新たな路側防護柵や中心線ワイヤーロープの設置が含まれる。